

九手連広報紙

はっけん

平成18年7月号

◀ 掲載内容 ▶

- ・ 平成18年度新役員選出
- ・ 平成18年度活動予定

【平成18年度新役員】

会 長：村本 宗和（熊本県）
副会長：山口美由紀（佐賀県）
" : 井上 時枝（宮崎県）
事務局長：前渕 洋一（熊本県）

監 査：大分・鹿児島

広報部：森(熊本)・樗木(鹿児島)・
谷脇(長崎)
組織部：中元(大分)・和田(福岡)
研修部：山口(佐賀)・井上(宮崎)

【平成18年度 活動予定】

- ・ 第32回九州手話サークル連絡協議会
評議員会 6月24日(土) (熊本)
- ・ 第14回九州手話サークル連絡協議会
リーダー研修会 6月25日(日) (熊本)
- ・ 第34回全九州手話通訳者研修会
9月9日(土) (佐賀)

○第14回九州手話サークル 連絡協議会リーダー研修会

- ・ 日 程
平成17年6月25日(日)
10:00~15:00
- ・ 内 容
講演1 (10:00~12:00)
講師：早川 恵氏(久留米ろう学校教諭)
「私のろう教育論」
講演2 (13:00~15:00)
講師：エイミー・サーカウスキ氏
(宮崎国際大学助教授)
「海外のろう教育・文化事情」
- ・ 会 場 八代市商工会館3階大ホール
(八代市)
- ・ 参加費 1500円(昼食代含む)

九州手話サークル連絡協議会

(事務局) 〒866-0892

熊本県八代市古閑下町1717-43

前渕 洋一 ☎0965-35-2653

URL : <http://www.kyusyuren.org/>

発行責任者：村本 宗和

発行年月日：平成18年7月31日



久留米ろう学校で教師をしています、私自身も聴覚障害があり様々な経験をしました。今の私があるのは手話と出会ったお陰です。～早川恵氏講演風景～



エイミー氏はアメリカ人。ですから講演はもちろん英語。通訳の方法は？まず日本語（音声）に直し、それを聞いて通訳（手話）する方法で講演は進められました。

H18年度役員です！



「大分県手話サークル連絡協議会のお知らせ」は大分県聴覚障害者協会ホームページ「最新情報・行事」のコーナーに掲載中
<http://www.toyonokuni.jp/new/new.html>

「ファクス110番」講習 聴覚障害者が体験 宮若署（福岡）

宮若署(福岡)は5日夜、耳が聞こえない人向けのファクスでの110番通報に関する講習会を、宮若市宮田の市中央公民館で開いた。5月に、窃盗被害に遭った聴覚障害者から「電話で110番通報できずに困った」と相談があったのがきっかけで、約30人が参加した。同署によると、県警は1990年からファクスでの通報を受け付けているが、利用は年間10件程度にとどまっておリ「ファクス110番の存在をもっと知らせる必要があると感じた」(兼屋義彦署長)という。

講習では、署員が、事件事象の内容のほか、名前と住所を忘れずに記入する▽外出先で住所が分からないときは大きな目印を示す、といった注意点を説明。その後、聴覚障害者が実際にファクスでテスト送信し、受理されたことを確認した。また、同署が独自に作成したという、絵に丸を付けるだけで通報内容が分かる用紙も配布された。

鞍手郡ろうあ協会の毛利豊典会長は「こうした制度はとても便利。絵に丸を付けるだけなのも簡単でいい」と話した。福岡県警ファクス110番=092(632)0110。=2006/07/07付 西日本新聞朝刊=

鹿児島では、7月23日(日)鹿児島県障害福祉課と鹿児島市障害者福祉課の担当を招いて「障害者自立支援法について」講演をしていただくように計画を立てました。しかしながら、皆さんご存知のとおり豪雨に見舞われ、とても講演が開催できるような状況ではなかったので残念ながら延期としました。また日を改めて開催したいと考えています。昨年のリーダー研修会のテーマでもあった災害についての対応を改めて考えさせる1日となりました。全てのことにおいて『他人事ではない!!』と改めて実感した日でもありました。

宮崎県の行事と今後の予定

～宮崎県手話サークル連絡協議会～

平成 18 年度行事

4月2日(日)監査

4月16日(日)第33回県サ連定期総会、第1回理事会

5月8日(月)障害者スポーツ大会県庁打ち合わせ

5月14日(日)宮崎県障害者スポーツ大会

5月21日(日)第2回理事会

6月24日(土)～25日(日)九手連リーダー研修会、評議委員会

7月16日宮崎県4団体合同役員会

7月30日(日)第3回理事会

予定

9月3日(日)第4回理事会

10月9日(月)手話スポーツフェスタ

11月12日(日)第5回理事会

11月26日(日)第9回宮崎県聴覚障害教育フォーラム

12月2日(土)全国統一試験(試験管)

1月8日(日)第6回県サ連理事会

1月28日(日)第26回県サ連研修会「テーマ、防災体験」

3月4日(日)第36回宮崎県耳の日記念大会

4月16日135号 日向
7月9日136号 都城
9月10日137号 佐土原
11月12日138号 西都
3月4日139号 日南



《県サ連ニュース》は、
持ち回りで作成しています！

九州大会担当の佐賀県より

アトラクションは、講演を予定しています。

「映画～迂路(うろ)～ろう者監督の裏話」講師 大館信宏(おおだてのぶひろ)氏

茨城県八千代町生まれ。1歳のとき、高熱が原因で耳が聞こえなくなり、幼いころから映画やテレビは、せりふを想像しながら楽しんでいたという。東京都立大田ろう学校在学中には、映像制作に興味をもち、8ミリカメラで作品づくりに取り組んだ。1995年、映画制作グループ「ジャパンデフ映像プロダクション」を設立。苦労や孤独を強調して美談にするのではなく、聴覚障害者の自然な生活を伝えたいと、障害の有無にかかわらず楽しめる「デフムービー」の制作を開始する。翌年、『過去は今～30年目の青春の事実』を発表。出演者はすべて聴覚障害者、音は一切なく、会話は手話のみで字幕を挿入するという手法で、主人公の父が残した遺品をめぐるサスペンスを、誰もが楽しめるエンタテインメント作品に仕上げた。2006年5月、カナダで開催されたトロント国際ろう映画&芸術祭に、7作目となる『迂路(うろ)』を出品する。俳優の表情や微妙な間でストーリーを紡いだ試みなどが高く評価された。同作品は、06年7月から全国30か所で上映される。

あと、地元サークルとろう者のダンス等です。ぜひ、ご参加下さい。心よりお待ちしております。



大分県手話サークル連絡協議会のお知らせ

全役員、力を合わせて頑張りますので、今年もご指導・ご協力の程、宜しくお願いいたします。

【H18年度役員を紹介します】

会 長	中元 教博	はぐるま(夜の部)
副会長	園田 暢子	さくらんぼ
副会長	井上 安代	きつき
事務局長	松本 年明	ふれあい
会 計	武田 照代	はぐるま(昼の部)
事務局員	神田 みどり	はぐるま(夜の部)
事務局員	佐藤 タツエ	はぐるま(昼の部)
事務局員	武原 孝司	はぐるま(夜の部)
事務局員	沖 孝子	はぐるま(夜の部)

【サークル関連の主な事業】

☆ 第33回大分県手話研修会の共催 「赤い羽根共同募金配分事業」

- ・〔期日〕平成18年10月21日(土)～22日(日)
- ・〔場所〕湯布院自然の家 ゆふの丘プラザ(旧：県立湯布院青年の家)

☆ 地域活動支援事業の実施 「赤い羽根共同募金配分事業」

- ・手話通訳者知識の習得や関係団体との行事開催を目指し、2年に1度 研修権を持っていただきサークルの活性化を目指す。

☆ 第7回サークル訪問交流会

- ・理事会を県内サークル所在地で開催し、地元サークルとの交流や意見交換を行う。
- 日 時:7月23日(日)13:00～15:30
- 訪問先:さくらんぼサークル(豊後大野市中央公民館)

☆ 県手連主催リーダー研修会の開催 「赤い羽根共同募金配分事業」

- ・今年度は、障害者自立支援法施行年度でもあり、制度を正しく理解するために研修会を実施する。また、主目的である手話サークルリーダーおよび次世代リーダーの育成を考慮した組織内独自研修も開催する。

☆ 県内サークルへのオルグ活動 「赤い羽根共同募金配分事業」

- ・会長(三役)は、サークルの例会を訪問し活動の実態把握と支援活動を行う。

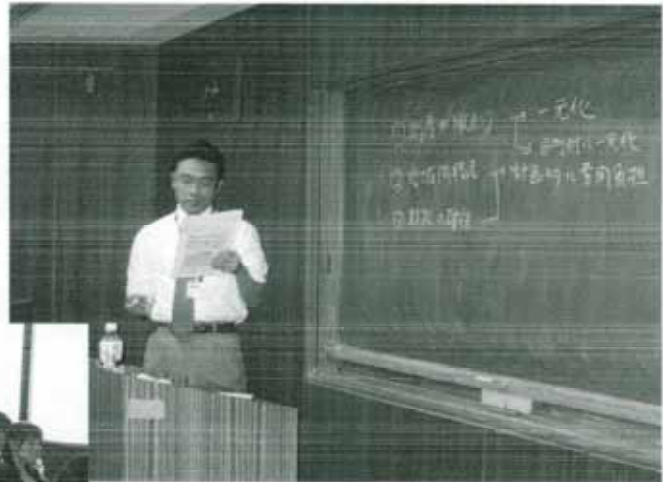
リーダー研修会

平成18年4月、障害者自立支援法が施行されました。県手連として、制度を正しく理解するため県より講師をお招きし研修会を開催した。

5月21日(日)

講師：県障害福祉課参事 白川泰之氏

地域生活支援事業について
コミュニケーション支援事業を中心に
講演を聞いた。
後で、多くの質問や要望がだされた。



コミュニケーション支援事業は、市町村の必須事業です。
各市町村により取扱いに独自性が出てくることが考えられる。
分かりにくい。県から統一的指導をお願いします。等・質問、意見あり。

オルグ活動

☆ 今年最初のオルグ活動として、
6月21日(19:00~21:00)竹田サークル
の例会を訪問しました。



ホットな例会を開催しておられました。
新人が入ってこられましたので基礎から学習しています。とのことでした。
また、地域に溶け込んだボランティア活動も積極的に実施されていました。

第7回サークル訪問交流会

月日:7月23日(日)
場所:さくらんぼサークル

「目的」

県手連理事が、県内手話サークルを訪問し素晴らしい活動を学ぶと共に、各理事が手話サークルの実態を把握し、共通認識のもとに今後の活動に活かすことを目的に開催。

ミニ講演

講師:小倉康子さん
テーマ:生い立ち



力強い手話表現に見惚れる参加理事の皆さん



手話コーラスと寸劇、ゲームを、さくらんぼサークルの皆さんと楽しみました。
愉快的な寸劇、楽しいゲーム有難うございました。

ぼたん君とさくらちゃん、次は耳の日大会でお会いしましょう。(少し、気が早いですが!)



熊本県より



平成18年8月19日～20日は、「第18回ろう教育を考える全国討論集会 in くまもと」でした。

台風10号の影響が心配されましたが、499名の集会参加者（子ども企画は除く）を得て、無事終了いたしました。

5つの分科会と6つの選択コース、それに基礎講座（身体表現）でした。

様々な観点から、これからの「ろう教育」について熱い討論がなされ、来年開催の埼玉県に引き継がれました。

私は3年前の全通研大会と同様、速報班として活動しました。

今回は、ろう協青年部を中心に速報班を組織しましたが、

13名という少ない陣容で、取材はもちろん、延べ13号の速報の編集・校正は時間との戦いもあり大変でした。

やはり深夜に及ぶ作業で、さすがに疲れました・・・。

なお、拙い速報ですが、さっそく、熊本県ろう者福祉協会のHPにアップしていただいております。

当日発行の2号～13号です。よろしければ、ご覧下さい。

<http://www.kumarou.com/roukyouiku/roukyouiku200601.html>